



# 礼拝奉仕者研修会

2月10日(月)～11日(火)、神戸聖ミカエル大聖堂で礼拝奉仕者研修会が開催されました。開会礼拝後、61名の参加者はそれぞれ希望するグループ(オルガニスト・講師・松原晴美姉、オルター・講師・中村豊主教、サーバー・講師・柳本博人司祭)に分かれ、閉会礼拝の聖餐式でその成果を発揮しました。

## 研修会に参加して

エレナ 佐藤 寿子

これまで遠方での研修会は控えていましたが、下の子どもが小学生になり、少し手が離れたことで今回のオルガニスト研修会を希望しました。

研修の講師は桃山学院大学オルガニスト松原晴美先生。参加者全員が大聖堂のパイプオルガンを弾いて指導を受けるという実践重視の研修会でした。もともと研修に参加させてくれた教会のために、多くのことを持ち帰り、心を決めて参加しておりましたが、松原先生がとても熱心に、しかも丁寧に教えてくださったので、期待よりも多くのことを知ることができました。特にストップの組み合わせに関する考え方や足鍵盤の練習方法などは、高松に帰ったらすぐに実践してみたいと思うもので、今後自分が成すべき課題がはっ

きり見えませんでした。他の教会から参加された方々も、各教会での環境の違いはあれ、皆さん熱心かつ素直に先生の言葉や人の演奏に耳を傾けていて、そんな周りの方々の姿勢にも励まされました。参加者の方が持つて来られた楽譜を見せてもらったり、これまでの経験などを聞かせていただいたことも貴重でした。閉会礼拝では参加者で奏楽を担当して弾くチャンスが与えられ、入堂聖歌を担当したことは、よい土産話となりました(もちろん松原先生の強力なサポートのお陰で弾けたのですが)。

この研修で松原先生の素晴らしい演奏を目の当たりし、本物のパイプオルガンの音色とその可能性を知って、心から「オルガンを弾けるようになりたい」と感じることができました。松原先生は深いオルガンの知識で音色を奏で、高いイマジネーションで曲をアレンジされるので「普通の聖歌を普通でないよう

に弾く！」(すみません、素人なのでこんな表現しかできませんが)そんな先生の音楽とにかく感動して、閉会礼拝では涙が止まりませんでした。奏楽者の人数が少ない教会では、音楽について深く考える余裕もなく、毎主日の礼拝準備に追われます。他の教会に足を運ぶ機会も、他の人の演奏を聴いて学ぶ機会もなかなかありません。今回のオルガン研修会は私にとって大きなチャンスであり、恵みでした。これから練習に時間を要することはあっても、礼拝曲や聖歌に込められた「心」を私自身が豊かに表現できるように、今回の研修で得たことを生かしたいと思っています。

(高松聖ヤコブ教会信徒)



## 聖オーガスチン教会

### 建築奮闘記③

マリア 萩岡 明子

今回は私たちがどんな建築を目指しているかをご紹介したいと思います。

建物全体は、何よりも大切な礼拝堂が際立つように、より控え目な落ち着いた外観で礼拝堂との統一感を持つ、調和のとれた美しい景観のものにしたいです。またイベント時に広く利用できるように庭との一体感も保ち、ホールのごくからでも出入りできるバリアフリー構造とし、高い天井による明るい空間を生かした広がりのある開放的な建物にします。シャワー室付ゲストルーム、会議室も多様な使い方ができるものにします。執務室は外の様子がわかり独立したドアから入室できるように、また牧師館は独立性を高めプライバシーの保てる機能的で住みやすい家になるように設計をお願いしています。駐車スペースも広くとり、外でのイベントに活用できるようにします。車椅子の方にも安心して来て頂ける場所となるようにしています。

どなたにも立ち寄り寄って頂ける



開かれた教会をめざし、地域の中で必要とされて、心安らぐ居心地の良い場として集会、趣味の会、喫茶談話室等幅広く活用して頂き、安心できる親しい交わりを持つことにより信頼関係を結び、宣教へとつなげてきたいと考えております。そして岡山は地理的には神戸教区の中央にありますので、教区、伝道区の拠点として会合等に活用して頂きたいと、大きな期待を膨らませております。

この建物が宣教の基盤となり多くの実を結びますようにと祈りつつ、皆様のお祈りの強い支えを頂きながら歩んでおります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

### 交わりの食卓

「当学院は食事の空間をとて、も大事にします。」これは私が立教英国学院に就任して、最初に棟近校長に言われた言葉です。全寮制ということもあり、学期中は毎日、生徒と教員が一緒に食事を取ります。小学部から高等部までが混合の座席は二週間に一度のペースで代わりますが、その間も一日ずつ座席が順番にずれていき、毎日違うた学友と食事が出るようになっていきます。

校長テーブルとチャブレンテーブルと呼ばれるテーブルは固定されており、常に校長とチャブレンはそのテーブルに座りますが、その他の各テーブルにはテーブルマスターがつき、当番の教員及び最上級生がテーブルマスターの席につきまます。ゲストや卒業生がしばしば学院に訪れますが、その際にはチャブレンテーブルに座って頂き、周りの生徒がその正面や横に座ります。

テーブルマスターの務めは、休みの生徒の確認や食欲のない生徒がいかに気を配ることです。又、昼と夜はメインの料理を一皿ずつ乗せ、横について

いる当番の生徒がメイン以外の野菜等を盛って回します。食後にはデザートを一皿ずつ取り分けます。

基本的には洋食なのでナイフとフォークを使いますが、当学院のテーブルマナー及びこうした仕方は本学院二代目校長であり、神戸教区と深い関わりのあるフォス主教の令嬢であったミス・フォスよるものです。新任の先生及び新入生は食堂にて

「ミス・フォス式のテーブルマナー」と題したレクチャーを受けて新生活を始めます。

### 英国通信Ⅱ

#### 司祭 ダビデ 林 和広

英国式のテーブルマナーを身につけるといふこともありますが、お互いに食卓を囲み、互いに配慮しながら食事の時間を過ごすという交わりの食卓を大切にするといふ心もあります。高校生と小学生が並んで食事を食べるといふ家族的な空気は、神戸教区の大事な遺産である中高生大会を彷彿させてくれます。最初から皿に分けられて配られるのではなく、テーブルに置かれた一つの入れ物から取り分ける仕方は、お互いに一つ一つのものを分かち合うという気持ちを一層感じさせてくれるものであります。



呉信愛教会は、1904年頃、CMSの宣教により海軍軍港都市であったこの呉の町に伝道の種子が蒔かれ、1927年から呉市今西通に日本式城郭風造りの新教会堂が建てられて、そこで安定した発展を続けていました。(呉信愛教会という名称は、1916年から)しかし太平洋戦争末期に、土地・建物をすべて強制接収されたことで今の和庄登町に仮礼拝堂を建てました

た。その後1947年1月19日に、当時の米村勇雄司祭、長壽泉執事、信徒の渡辺勇兄の三名によって礼拝が再開され(それ以降、私たちの教会では顕現後第二主日の礼拝を教会復興記念礼拝として守っています)、その2年後には牧師館と仮礼拝堂兼用幼稚園舎も建てられました。しかしそれから随分の歳月が過ぎた後、幼稚園舎と兼用の礼拝堂ではなく、専用の礼拝堂をとという思いが高まり、たくさ

が、それも1945年7月1日夜半、米軍機の焼夷弾攻撃によって失われてしまったのでした。その後1947年1月19日に、当時の米村勇雄司祭、長壽泉執事、信徒の渡辺勇兄の三名によって礼拝が再開され(それ以降、私たちの教会では顕現後第二主日の礼拝を教会復興記念礼拝として守っています)、その2年後には牧師館と仮礼拝堂兼用幼稚園舎も建てられました。しかしそれから随分の歳月が過ぎた後、幼稚園舎と兼用の礼拝堂ではなく、専用の礼拝堂をとという思いが高まり、たくさ

んの方々のご協力と教会みんなの一致団結によってようやく念願の礼拝堂建設を実現したのでした。実に第一回目の教会復興記念礼拝から約50年後の1998年のことです。この礼拝堂の特徴としては、イエス様のご生涯の主な場面が描かれたステンドグラスが礼拝堂にあるということ、私たちは朝日に映えるそのステンドグラスの光景の中で礼拝を守っています。

しかし近年、信徒の高齢化によって主日礼拝出席者の減少に歯止めが効かず、今は定住牧師がいない状況です。しかしそれでも私たちは自分たちだけでなく、たくさんの方が出入りできる教会を目指して、教会と地域社会の交流の場となるように働きかけ始めています。例えば、昨年からある福祉作業所の皆さんに、また今年からはある地域の商店街の皆さんに野菜や日用品の販売をさせていただいています。実は、教会近隣のスーパーマーケットが2年前に閉店し、地域の皆さんは現在、遠くまで買い物に出かけなくてはならなくなってしまうのでした。ただでさえ坂道の多い呉の町なのに、そのことは高齢の方にしてみれば、困難以外の何ものでもありません。そこで私たちの教会では、野菜や日用品の販売



(呉信愛教会信徒 ルデヤ一ノ瀬浩子)

### 鳩だより 《敬称略》

#### 祝 洗 礼

2月1日(土) 谷 昭 士  
 広島復活教会

2月16日(日) 水野 房子  
 マグダラのマリヤ  
 神戸聖ミカエル教会

2月24日(月) ヨハネ 押 部 政 夫  
 フローレンス 押 部 末 子  
 神戸聖ミカエル教会

2月2日(日)

ヨハネ 荻原 一輝  
 神戸聖ミカエル教会

2月5日(水)

ヨセフ 永田 一呂志  
 広島復活教会

2月6日(木)

ベタニヤのマリア 石井 麗子  
 呉信愛教会

2月19日(水)

サロメ 入交 昭代  
 高松聖ヤコブ教会

#### 教 籍 異 動

1月1日(水)

マリア・マグダレン 吉田 久仁子  
 日本基督教団磐城教会より  
 明石聖マリア・マグダレン教会へ

2月19日(水)

マカレット 藤田 道子  
 富岡キリスト教会より  
 横浜教区市川聖マリヤ教会へ

2月27日(木)

テレジア 高月 実恵  
 ガブリエル 高月 怜子  
 神戸聖ミカエル教会より  
 大阪教区東豊中聖ミカエル教会へ

2月27日(木)

マグダラのマリヤ 伊藤 友妃子  
 神戸聖ミカエル教会より  
 京都教区西大和聖ペテロ教会へ

#### 神戸伝道区

#### ◎明石聖マリア・マグダレン教会

35年前に信徒から寄贈を受けたKAWAI製オルガンが、老朽化のために支障が出始めてい

たところ、信徒の方がこれを見かねて、献金してくださり、代表オルガンリストが近隣教会のオルガンを試奏して機種選定の結果、「米ロジャース製568型」に決定しました。永年の夢であった新オルガンは、お年玉となつて米国から空輸され、1月19日に祝福式が行われました。

その機能は、ストップ数33(音色数212)、平均律ほか9種類の音律、残響機能(4種類の聖堂空間から好みの残響レベルを選択可能)が有り、スピーカーは本体内蔵の他、祭壇上の低音用1台とフルレンジ2台、堂内の後部壁に小型2台を配置し、礼拝堂の前後左右から、荘厳な音が鳴り響きます。このオルガンは多様な機能を持ち、使



#### 広島伝道区

2月22日(土)に第2回伝道区会が行われ、この度は宣教基金と伝道区内の協働関係について協議されました。

宣教基金は、次年度より伝道区費を段階的に引き上げ、その目的として、現段階では伝道区会決定の伝道区行事(旧宣教活動費・研修会・修養会・SSキャンプなど)のために用いることとなりました。今後その運用範囲については継続して協議していきます。協働関係については、2014年度の主日礼拝支援を調整し、教会活性化のための行事が計画されました。

## 公 示

救主降生2014年3月21日  
 日本聖公会 神戸教区  
 主教 アンデレ 中村 豊

下記のように人事異動を発令します。

司祭 トマス 河村 博之  
 2014年3月31日付 富岡キリスト教会牧師の任を解く。  
 2014年4月1日付 徳島聖テモテ教会牧師に任命する。  
 司祭 パウロ 瀬山 公一  
 2014年3月31日付 徳島聖テモテ教会管理牧師の任を解く。  
 2014年4月1日付 富岡キリスト教会管理牧師に任命する。  
 司祭 ヨハネ 芳我 秀一  
 2014年3月31日付 鳥取聖ルカ教会管理牧師の任を解く。  
 司祭 バルナバ 瀬山 会治  
 2014年4月1日付 鳥取聖ルカ教会管理牧師に任命する。  
 司祭 バジル 八代 智  
 2014年4月1日付 学校法人八代学院への出向を延長する。  
 期間 2014年4月1日～2016年3月31日まで  
 司祭 ポール・マイケル・トルハースト  
 2014年4月1日付 (宗) The Mission to Seafarers Kobe 勤務を命ずる。  
 執事 リチャード 池澤 隆輝  
 2014年4月1日付 チャプレンとして神戸国際大学付属高等学校への出向を命ずる。  
 2014年4月1日付 神戸昇天教会での主日勤務を命じる。  
 執事 ミカエル 杉野 達也  
 2014年3月31日付 神戸聖ミカエル教会勤務の任を解く。  
 2014年4月1日付 米子聖ニコラス教会牧師補に任命する。  
 聖職候補生 セバスチャン 浪花 明久  
 2014年4月1日付 神戸聖ミカエル教会勤務を命ずる。

#### 5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2014年5月1日(木) 午前10:30  
 場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
 司式 司祭 中村 豊  
 説教 司祭 八代 智

\* 5月の記念逝去教役者 \*

2日	司祭	覚前	政蔵
5日	宣教師	ヴァイオレット	ドット
6日	司祭	フランク	太郎
10日	司道	マリヤ	初子
14日	伝道	パウロ	山浩
16日	司祭	パウロ	韓一
19日	司祭	ペテロ	代欽
22日	司祭	ヨハネ	長澤
24日	司祭	パウロ	上村
24日	司祭	バルナバ	大塚
26日	司祭	バルナバ	末吉
27日	司祭	バルナバ	阪村
28日	司祭	アーネスト	與賀
29日	司祭	メイ	田千
30日	宣教師		秋ソ